

財務戦略

持続的な成長と安定的な株主還元の両立を目指し、資本コストを上回る収益創出と最適な資本配分に取り組んでいます。

資本効率の向上

当社グループでは、ROEの向上を重要な経営目標と位置づけ、資本効率の改善に取り組んでいます。投資判断においては資本コストを重要な指標とし、各投資案件について資本コストを上回るリターンが見込めるかを慎重に検討した上で、収益性の高い投資の実行に努めています。

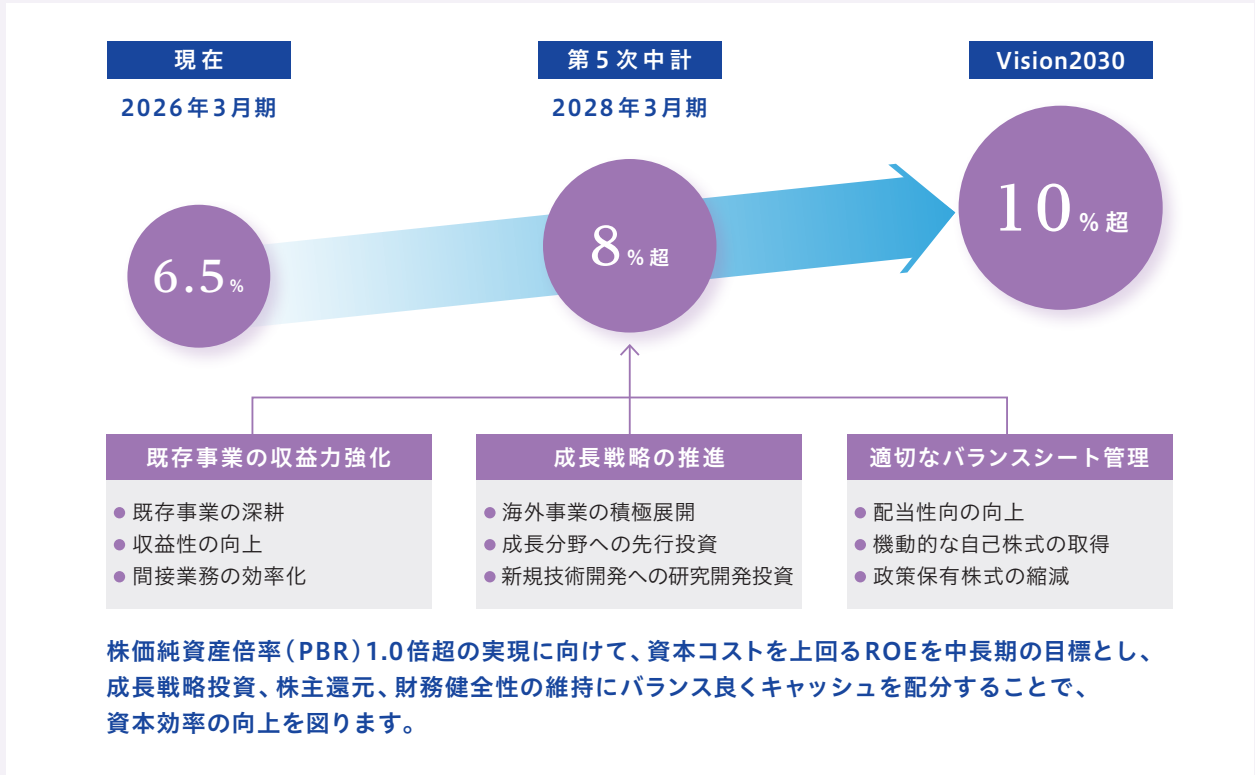
また、「既存事業の収益力強化」「成長戦略の推進」「適切なバランスシート管理」の3つの取り組みを柱として、バランスの取れた資本構成の維持と資本効率の向上を図っています。収益性向上や業務効率化による収益力の強化に加え、海外事業の拡大や新規分野の開拓に向けた投資、研究開発への継続的な投資を通じて成長戦略を推進し、収益機会の拡大と持続的な企業価値の向上を目指しています。

さらに、配当性向の向上に加え、機動的な自己株式取得や政策保有株式の縮減を進めることで、バランスシートの最適化を図り、ROEと資本効率の向上に継続的に取り組んでいきます。

第5次中期経営計画においては、持続的な企業価値向上の実現に向け、将来の成長に資する戦略的投資と、株主の皆さまへの安定的かつ継続的な還元の両立を重要課題として位置づけています。これにより資本効率の向上を図り、ROE8%以上（「Vision2030」においては10%以上）の達成を目標としています。

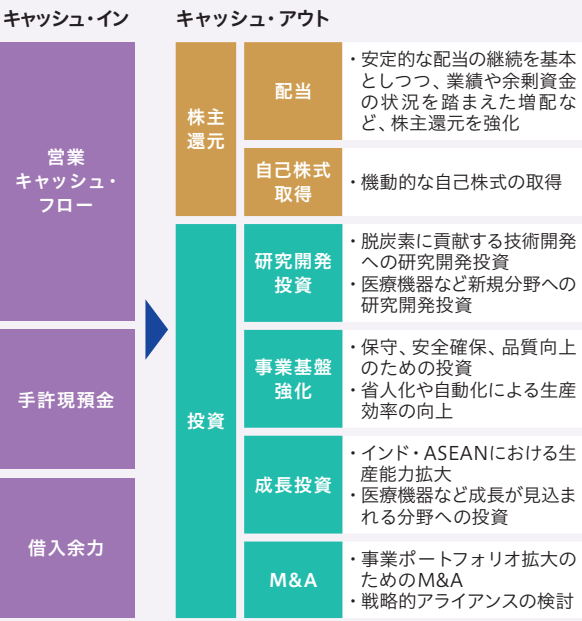
当該目標の実現に向けては、事業ポートフォリオの最適化、収益性の高い分野への重点投資の推進、財務戦略の高度化など、複合的な施策を講じています。これらの施策については、取締役会において中長期的な視点から十分な議論・検証を重ね、その実効性の確保に努めています。

今後も、施策の進捗状況や成果について適時適切な情報開示を行い、透明性の向上とステークホルダーとの建設的な対話を通じて、さらなる経営の高度化を推進していきます。



キャッシュアロケーション方針

当社グループは、「Vision2030」の実現に向けて、「既存市場の深耕」「海外事業の拡大」「新規分野の開拓」を推進することで、持続可能な企業価値の向上に取り組んでいます。こうした中長期的な成長戦略を支える財務戦略として、営業キャッシュ・フロー、手許現預金、借入余力などを活用しながら、成長投資、財務健全性の維持、株主還元へバランス良く資金を配分することで、資本効率の向上を目指します。特に、グローバルベースでの効率的な資金管理体制の強化を重要な課題と位置づけており、事業特性や各リージョンの資金需要を踏まえた戦略的な資金配分をグループ全体で進めます。また、既存事業の収益力強化や成長分野への投資と合わせて、政策保有株式の縮減や自己株式の取得にも取り組んでおり、資本構成の最適化を通じて、企業価値の持続的な向上を図っていきます。



株主還元への取り組み

当社グループは、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけています。配当については、財務基盤の安定性がある程度確保されたと判断し、安定した配当の継続と総還元性向を勘案しながら、当面の間は配当方針（連結配当性向30%程度）を上回る配当を継続する方針です。また、ROEおよび資本効率の向上に向けて、手元資金や株式市場の動向など状況に応じて、自己株式取得を

機動的に実施します。直近では、2026年5月14日開催の取締役会において、取得価額100億円を上限とする自己株式取得枠の設定を決議しており、今後も適切なキャッシュアロケーションとバランスシート管理を通じて、資本効率の向上と株主還元の両立を図り、株主価値の向上に努めていきます。

